

科目名 (科目番号)	栄養教育論 実習 I (092133)	教員名 菊池浩子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		D307研究室		
授業概要	<p>栄養教育論 I で学んだ栄養教育のための行動科学理論と教育論的な自己効力感の涵養、栄養カウンセリングの実際的活用を実習する。さらに個人を対象とした栄養指導時の食事摂取量の把握方法についても実習し、食事の聞き取り方を体験する。栄養指導で対象者の行動変容を惹起するには、行動科学の理論を理解するだけではなく、実際に各種の技法が使えることが大切である。また栄養カウンセリングにおいても、基本的なカウンセリングマインドを体得することが重要である。つまり結局は、自分を知ることがこのようなトレーニングの原点にあるので、客観的に自分を見る実習も含めて、今後続く勉強のきっかけを各々が習得する。</p>						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分理解しておくこと						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	自己理解と他者との交流(1)	到達目標: 自分自身の「きく」態度の特徴が把握できる 学習内容: どのような「きく」態度があるのか、また自分自身の「きく」態度について理解を深める				
	2	自己理解と他者との交流(2)	到達目標: 他者との交流における自分自身の特徴が把握できる 学習内容: 他者との交流における自分自身の特徴について交流分析理論による理解を深める				
	3	栄養教育に必要な技法(1)	到達目標: 受容、傾聴、共感的理解に関する自分の課題がわかる 学習内容: 受容、傾聴、共感的理解に関して、ロールプレイを通して、自分の課題を知る				
	4	栄養教育に必要な技法(2)	到達目標: 栄養教育の実施に必要なデータベースを使うことが出来る 学習内容: 栄養教育の実施に必要なデータベースの使い方を実習する(コンピューター室)				
	5	栄養教育に必要な技法(3)	到達目標: 栄養教育に必要なデータから問題点を抽出することが出来る 学習内容: 栄養教育に必要なデータから問題点を抽出することを実習する(コンピューター室)				
	6	栄養教育に必要な技法(4)	到達目標: モデル症例に対する行動変容技法の活用をグループで検討出来る 学習内容: モデル症例に対して各種の行動変容技法の活用をグループで検討する				
	7	栄養教育に必要な技法(5)	到達目標: 感情の聞き取り方、感情労働の問題点と燃え尽きについて理解出来る 学習内容: 感情の聞き取り方、感情労働の問題点と燃え尽きについて学び、理解を深める				
	8	栄養教育に必要な技法(6)	到達目標: 対人援助職に必要な「ライフスキル」を活用することができる 学習内容: 対人援助職に必要な「ライフスキル」について学び、体験して理解を深める				
	9	栄養教育に必要な技法(7)	到達目標: 食事摂取の状況を聞き取る技術について自分の課題がわかる 学習内容: 食事摂取の状況を聞き取る技術を学びロールプレイを行い、自分の課題を知る				
	10	栄養教育に必要な技法(8)	到達目標: 食事摂取の状況を聞き取る技術について自分の課題を修正し対策できる 学習内容: 食事摂取の状況を聞き取る技術を深め、自分の課題を修正対策する方法を学ぶ				
	11	栄養教育に必要な技法(9)	到達目標: 対象者の食事記録から栄養量を把握する技術が理解できる 学習内容: 対象者の食事記録から栄養量を把握する技術について理解を深める				
	12	栄養教育に必要な技法(10)	到達目標: 対象者の食事記録から栄養量を把握する技術が活用できる 学習内容: 対象者の食事記録から栄養量を把握する技術について考察を深める				
	13	自己理解と他者との交流(3)	到達目標: 自分自身の境界線、アサーションの基本が把握できる 学習内容: 自分自身の境界線、アサーションの方法について学ぶ				
	14	自己理解と他者との交流(4)	到達目標: グリーフケア、安心して話せる場の作り方の基本が把握できる 学習内容: グリーフケア、安心して話せる場の作り方について学ぶ				
15	栄養教育に必要な技法(11)	到達目標: 行動科学理論、行動変容技術、栄養カウンセリングを総合的に活用できる 学習内容: 行動科学理論、行動変容技術、栄養カウンセリングについて総合的に実習する					
成績評価の方法・基準	課題の提出と内容(30%)、期末試験(筆記試験・実技試験)(70%)を総合して評価します 評価対象各項目の総合評価への寄与率は、授業開始時に確認伝達します						
教科書	糖尿病食事療法のための食品交換表第7版 カレント栄養教育論		日本糖尿病学会編 杉山みち子他		日本糖尿病協会・文光堂 建帛社		
参考図書	栄養教育論の教科書 授業中に別途指示する						
教員からのメッセージ	<p>学生さんの興味関心やその他の状況により、授業内容や実施順序の変更がある場合があります。提出された課題は、授業時間内に返却しますので、必ず受け取りにきてください。また課題や実技試験は評価表で評価し、結果をフィードバックします。ご自分の強み・弱点を知るためにご活用ください。電卓を使用しますので用意してください。提出課題の未提出者は再試験の対象です。</p>						